

米国ロサンゼルス向け レスキュー在来船 (LOLO) 緊急配船！

新型コロナウイルスの感染対策による、稼働労働者の削減、トラック不足、生産性の低下の影響で、複数のコンテナ船がロサンゼルス港にて2週間以上沖待ち中のため、ジャパントラストはコンテナ船の代替手段として在来船(Lift on/Lift off)を緊急配船します



(写真：2014年米国ストライキ時の配船荷役)

【対象貨物】
重量物、工作機械
ドライコンテナに収まる貨物も大歓迎
(危険品、リーファー貨物不可)

【スケジュール】
1. 配船内容：名古屋港ーロサンゼルス港(バースターム)
2. 配船時期：名古屋3/27~29ーロサンゼルス4/18頃
3. トランジットタイム：名古屋港ーロサンゼルス港
15~20日(未定)

(弊社で2014年の米国港湾ストライキの際に在来船をチャーター配船したのと同形態です)

【その他作業】
・ドア・ツー・ドア 一貫輸送
・梱包
・アメリカ国内、カナダ、メキシコドアデリバリー
・米国内保管

お問い合わせ窓口：ジャパントラスト株式会社
在来船チャーター担当：浜田
メールアドレス：khamada@jpnttrust.co.jp

ジャパントラストかわら版
情熱羅針盤



海運豆知識

RORO船(在来船)：1時間に120台を積み込む驚異の荷役速度

海上輸送する上でコンテナ船、在来船、タンカー船等色々ある中で今回はRORO船(在来船)についてお話しさせていただきます。RORO船(在来船)とは、特定の貨物をより効率的に輸送することを目的に開発された様々な専用船の中でも、多くの点で個性的な特徴を持つ船種となり、その中で一番ユニークな点は「走る貨物」である自動車の特徴を生かした独特の荷役方式となります。専門のドライバーが、貨物である車を船内の積み付け位置まで直接運転して積み込むため、クレーンなどの荷役装置を必要とせず、しかもスピーディーに限られた停泊期間の間に積み込みをします。かつて一般貨物船にクレーン積みしていた時代の荷役では、1基のクレーンで1時間に15~6台というペースでしたが、現在の荷役方式では、20名前後の荷役チームで1時間に約120台という驚異的な荷役速度を実現しております。まさに革命的ともいえる効率化とスピードアップをもたらしました。日本の自動車工業の生産額は、全製造業中の1割、機械工業中の3割を占め、日本経済を支える基幹産業として重要な役割を果たしております。RORO船(在来船)は、海外への輸出活動を支え、日本国内の生産基地と海外の市場を直結する、いわば海のベルトコンベアとも言えます。我々ジャパントラストにおいても日米間のコンテナ輸送に加え、全世界のオーバーゲージ貨物の取り扱いが非常に多い中で今回ご案内したRORO船(在来船)の取扱いもしております。コンテナ船で運べないサイズの機械、在来船だと貨物重量とリードタイムに不安という方、是非ジャパントラストへまずは相談をして頂ければ弊社営業マンがオーダーメイドの輸送提案を致します。

2015年5月号
Vol.110より

在来船 臨時寄港させました！

複数の大手工作機械メーカーから、2015年3月の機械出荷が多くなりそうとの連絡を事前に頂いており、年度末である3月中の船積みが必要とこのことでした。当初はいつも通りコンテナ船で手配する予定でしたが、アメリカ西海岸のストライキの影響で2月あたりから特殊コンテナのスペースが取りづらくなっておりました。2-3月で数十本の40'フラットコンテナ(オーバーゲージ)のスペース確保が厳しいということもあり、コンテナ船では積み残しが発生するので、在来船の起用を検討しました。今回は1,000M3以上の貨物ボリュームがありましたので、運賃面でもコンテナ船のレベルに合わせる必要があったため、普段はNAGOYA-LOS ANGELES(LONG BEACH)の配船をしていない在来船社とも交渉し、最終的にはECL(Eastern Car Liner)に希望していた3月下旬に名古屋港へ弊社の貨物のためだけに寄港していただくことに成功しました。

普段は名古屋へ寄港せずにアメリカ西海岸へ向かう本船ということもあり、事前の貨物明細の確認作業から、当日に至るまでの搬入作業の確認まで、日々業務に追われておりましたが、無事全量の貨物が積載され、出港したときは安堵感が漂い、お客様のご希望通り、全機械を3月中の船積みで輸送することができました。